

小川 理子 (おがわ みちこ)

パナソニック ホールディングス株式会社 参与
(関西渉外・万博担当、(兼)テクニクスブランド事業担当)
マツダ株式会社 取締役
一般社団法人日本オーディオ協会 会長
ジャズピアニスト
大阪市出身、慶応義塾大学工学部卒



【ビジネス活動の略歴】

1986年(昭和61年)4月

松下電器産業株式会社(現 パナソニック ホールディングス株式会社) 入社

同社の音響研究所にて、音響心理、音響生理を基盤とした音響機器の研究開発に従事。

その後、事業推進本部、マルチメディア開発センターなどを経て、2001年に東京転勤でeネット事業本部に異動し、デジタルネットワークサービスの企画、開発、運用、デジタルコンテンツの営業などを担当。2008年4月には、大阪本社で社会貢献を担当する社会文化グループに異動、CSR社会文化グループマネージャーに就任。

2014年(平成26年)5月

オーディオ事業部門に異動し、高級オーディオブランドのテクニクス復活を総指揮。

2015年(平成27年)4月

パナソニック株式会社役員(テクニクスブランド事業担当)に就任。

2018年(平成30年)1月

同社 執行役員 テクニクスブランド事業担当、アプライアンス社副社長 技術担当(兼)技術本部長、テクニクス事業推進室長

2018年(平成30年)6月

一般社団法人日本オーディオ協会 会長に就任

2019年(令和元年)6月

マツダ株式会社 取締役に就任

小川 理子 (おがわ みちこ)

パナソニック ホールディングス株式会社 参与
(関西渉外・万博担当、(兼)テクニクスブランド事業担当)
マツダ株式会社 取締役
一般社団法人日本オーディオ協会 会長
ジャズピアニスト
大阪市出身、慶応義塾大学工学部卒



【音楽活動】

音楽経験については、3歳でクラシックピアノを始め、幼い頃から父親の影響でジャズに親しむほか、ロック、ポップス、フォーク、フュージョンと様々な音楽を聴き、大学在学中にバンドを組んで、スタンダードジャズを始める。

大学卒業後、しばらくは勤務が忙しくピアノから離れたが、1993年からハーレムストライドピアノスタイルを中心としたクラシックジャズ、スウィングジャズの演奏活動を開始。

1998年ガーシュイン生誕100年を記念して「My First Recital」を開催。

この後、ガーシュインの「ラブソディ・イン・ブルー」を関西フィルハーモニー(2014, 2019, 2023年)、大阪フィルハーモニー(2000, 2020, 2023年)といったオーケストラと共演。

2003年7月大阪(中ノ島・中央公会堂)、10月東京(東京オペラシティ・リサイタルホール)で、ソロ活動10周年記念リサイタルを開催。

海外公演は1997年から開始し、2000年から5年続けてフロリダでのジャズフェスティバル「International March of Jazz」に出演し好評を博す。2003年Arbors Recordsより全米リリースされたアルバムが、英国Jazz Journal International批評家投票で1位獲得。

2006年には、中山正治ジャズ大賞のアマチュア部門にてグランプリを獲得。

2017年2月には、文藝春秋社より、著書『音の記憶』を発刊。

山形での音楽活動としては、2020年10月「やまがた芸術の森音楽祭2020～音楽の森～」に参加。やまぎん県民ホールでのロビー・コンサートで、旧県民会館から引き継ぐ“つむぐピアノ”を演奏した。